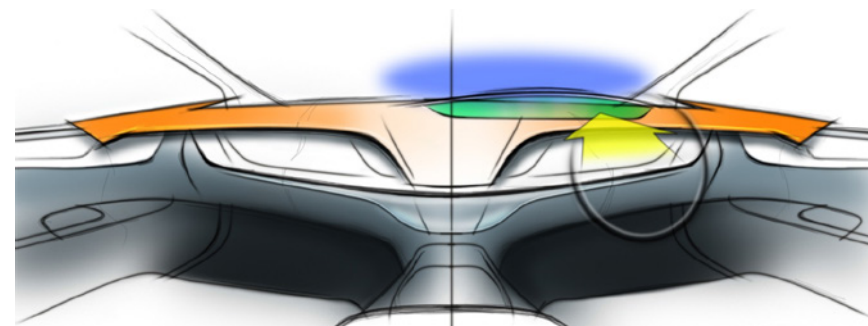


爽快、上質、先進を高次元で融合した インストルメントパネルデザイン。

ドライバーズシートに身をあずけた瞬間に、ドライブへの期待に胸が高鳴る。そして、いつまでもステアリングを握っていただきたい。
このようなドライバーズ空間をめざして、インストルメントパネルをデザイン。伸びやかな広がりが生む爽快感。所有する喜びを高める上質感。そして、機能と美しさを備えた先進感を融合した空間を創造しました。

徹底して追求された爽快感と上質感。

アッパー部は、伸びやかで広がりのある造形とし、厚みを抑えたメーターバイザーを助手席側になだらかなラインを描くように傾斜。これにより、軽快な左右対称の広がりを演出しました。ミドル部では、メーターをインパネ上部に配置することで、ステアリングホイールの奥に平面を創出。この面から助手席まで、シルバー加飾で縁取りした木目加飾パネルを大胆に配置。上質な家具を思わせるインパネとしています。



操作性と先進感を追求した、コクピットデザイン。

Hondaインテリアデザインの思想である「瞬間認知」「直感操作」を徹底追求。メーターなどの情報伝達系は見やすい上部にレイアウト。オーディオスイッチなどの操作系は、センターパネルに集中配置しました。またメーターはステアリングホイールの外側にレイアウトすることで、先進感を演出しています。



■アウトホイールメーター
インパネ上部にメーターを配置。中央にデジタルスピードメーターを配置した横基調のデザインで、視線移動が少なく見やすいメーターとしています。

■メーターデザイン
メーターの左右にエコインジケーターの機能をもたせた円弧状のアンビエントとブルーバーの加飾を施し、ハイブリッドのクリーンなイメージと先進性を表現。

■センターパネル
視認性のよい上部にオーディオ/ナビの操作パネルを配置。手元操作がしやすい下部には、ヒーターコントロールパネルを集中配置しました。